

事務事業名		農業経営塾運営事業		目標設定日	令和2年3月1日
				部・局	経済部
総合 計画 体系	基本政策	3	にぎわいと活力あふれるまちづくり	課・室	農政課
	政策	03	農林業の振興	係	農政係
	施策	04	担い手の確保と経営安定化	内線電話	250
予算 体系	会計	一般会計		実施計画	
	款	6款	農林水産業費	計上	
	項	1項	農業費	実施期間	
	目	2目	農業総務費	平成29年度 ~	

目指す姿	対象（誰のために）	担い手農業者	意図（どのような状態にしたいのか）	次世代を担う優れた経営感覚を身に付け、経営安定と雇用創出を図る。
	現状・課題	農業者の高齢化、後継者不足、遊休荒廃地の増加等が急速に進んでいる。		
市が行う理由及びその根拠	任意的自治事務	次世代を担う優れた経営感覚を備えた農業者の育成を図るため。		
事務事業概要	基幹産業である農業の更なる発展をめざし、企業経営の感覚を身に付けた「新たな担い手」を育成するため、「信州なかの農業経営塾」を運営する。			
令和2年度の活動指標 アウトプット	活動内容		活動量	
	通常講座（ステップアップコース）		3回	
	公開講座（ステップアップコース）		1回	
	先進経営体視察（ステップアップコース）		1回	

事務イン 事業プ ット	項目		単位	平成30年度	令和元年度	令和2年度
	予算額	当初予算		円	522,000	602,000
補正・流用等		円			—	
合計		円	522,000	602,000	367,000	
決算（見込）額 A			円	522,000	602,000	—
財源内訳	国庫支出金		円			
	県支出金		円			
	市債		円			
	その他特定財源		円			
R2は予算額	一般財源		円	522,000	602,000	367,000
正規職員数			人	0.26	0.26	0.21
人件費 B			円	1,672,840	1,674,920	1,352,820
総事業費 A+B			円	2,194,840	2,276,920	1,719,820
市民1人当たりコスト			円	51	54	41

成果指標	アウトカム	方向	平成30年度		令和元年度		令和2年度		
受講者の法人化		増加	目標	1	人	1	人	1	人
			成果	0	人	0	人	—	
			目標						
			成果					—	
成果指標と目標値を設定した理由	法人化を促すことで、農業経営の安定化、雇用の創出が図れるため。								

令和2年度の実施方針	重点的に実施	活動量	維持する	コスト	維持する	成果	上げる
	基幹産業である農業の更なる発展をめざし、企業経営の感覚を身に付けた「新たな担い手」を育成する。						

